

【沿革】

一般財団法人 徳島県観光協会

昭和43年	1月	財団法人徳島県観光開発公社として設立 (運輸大臣許可番号 官政第1529号)
昭和45年	9月	「南阿波サンライン」の管理運営を受託
昭和47年	8月	「南阿波サンラインモビレージ」開設
昭和60年	4月	「県立大鳴門橋架橋記念館」の管理運営を受託
平成4年	3月	社団法人徳島県観光協会の解散を機に組織統合し、財団法人 徳島県観光協会に名称を変更 (四国運輸局長許可番号 四運総第16号)
平成5年	10月	「県立産業観光交流センター」の管理運営を受託
平成12年	3月	「県立渦の道」の管理運営を受託
平成13年	4月	「県立あすたむらんど徳島」の管理運営を受託
平成17年	3月	「南阿波サンラインモビレージ」の事業廃止 丈六寺宝物館運営事業の廃止
平成18年	3月	「県立あすたむらんど徳島」の受託を取りやめ 「阿波十郎兵衛屋敷」を県へ移管
平成18年	4月	指定管理者として「県立産業観光交流センター」の管理運営 指定管理者として「県立大鳴門橋架橋記念館」及び「県立渦の道」を 株式会社ネオビエントと共同で管理運営 「南阿波サンライン」の管理運営を受託
平成18年	11月	指定管理者として「県立男女共同参画交流センター」の管理運営
平成20年	4月	財団法人徳島コンベンションビューロー業務を継承
平成21年	4月	指定管理者として「県立大鳴門橋架橋記念館」及び「県立渦の道」を 株式会社ネオビエントと共同で管理運営(2回目)
平成23年	3月	「南阿波サンライン」管理運営の受託を取りやめ
平成23年	4月	指定管理者として「県立産業観光交流センター」及び「県立男女共同 参画交流センター」の管理運営(2回目)
平成24年	4月	指定管理者として「県立大鳴門橋架橋記念館」及び「県立渦の道」を 株式会社ネオビエントと共同で管理運営(3回目)
平成25年	4月	公益法人制度改革に伴い、一般財団法人へ移行
平成27年	4月	国内旅行業(第2種)を開始 指定管理者として「県立大鳴門橋架橋記念館」及び「県立渦の道」を 株式会社ネオビエントと共同で管理運営(4回目)
平成28年	4月	指定管理者として「県立産業観光交流センター」及び「県立男女共同 参画交流センター」の管理運営(3回目)
平成30年	4月	指定管理者として「県立大鳴門橋架橋記念館」及び「県立渦の道」を 株式会社ネオビエントと共同で管理運営(5回目)
令和3年	4月	指定管理者として「県立産業観光交流センター」及び「県立男女共同 参画総合支援センター」の管理運営(4回目)
令和5年	4月	指定管理者として「県立大鳴門橋架橋記念館」及び「県立渦の道」を 株式会社ネオビエントと共同で管理運営(6回目)
令和8年	4月	主たる事務所を徳島市万代町一丁目1番地の徳島県庁内に全面移転 「徳島県立産業観光交流センター」及び「徳島県立男女共同参画総合 支援センター」の指定管理業務を「とくしまにぎわい創出共同事業 体」の構成員(株式会社キョードーファクトリー、四国放送株式会 社、本観光協会)として管理運営

現在に至る。